

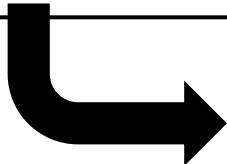
リズムパターンを考えながら発音する練習 ワークシート

名前 _____

1. 単語のリズムパターンを考える

【拍について】

- ta (短音節) 1拍: あ、か、きや..
- tan (長音節) 2拍: あつ、あー、あん → 短音節 + 特殊拍 (special mora)
:あい → 二重母音 (diphthong)



(例) ビ ル :ta ta

ビ ー ル :tan ta

き のう :ta tan

2. 単語をパターン別に分ける → 3. リズムパターンごとに発音する

ワーク①: の単語をパターンに分けて、下の表に書きましょう。

かぜ	にほん	いっぱい	おれい	ちょっと	ニュース	ほぞん	ようし	おじさん
ゴミ	パンダ	ロンドン	かいがん	コイン	さいご	あんこ	ゲーム	あさ

ワーク②: 自分が練習したい単語も下の表に書きましょう。

ta ta	tan ta	ta tan	tan tan
ビ ル	ビー ル	き のう	コー ヒー
と り	とおり	りょ こう	サッ カー
ち ず	チーズ	と けい	せん えん

【発音練習の時のポイント】

- ① 単語と単語をくぎらないで発音し、リズムのパターンをイメージしよう。
→同じリズムの単語をグルーピングして発音すると、それぞれの違いが意識しやすくなるため。
- ② 発音できたら、単語の後に助詞 (+は・が・を・に etc) をつけて練習する。
→実際の会話で助詞がついた時、リズムが崩れてしまわないようにするため。
○「ビールが」 ×「ビールーが」

ワーク③: いろんなパターンの単語を考えてみましょう、発音してみましょう。

・tan tan ta 例) カンニング

・ta tan ta 例) イベント

・ta tan tan ta 例) ほぞんようき

考案者: 木下万暢